

学校種別: 大学	学校課程コード: 4011-018-350
所在地都道府県: 福岡県	審査受付番号: 202003
学校名 課程名: 九州大学 芸術工学部 芸術工学科	
対象入学年: 令和4年度(2022年度) 修業年限: 4 年	新規申請の認定通知日: 2020/03/30
必要な実務経験年数 試験時: 最短0年 登録時: 最短0年	変更申請の認定通知日: 2025/11/27

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
①建築設計製図	空間表現実習Ⅰ	1年	2
①建築設計製図	環境設計プロジェクトA	2年	2
①建築設計製図	環境設計プロジェクトB	2年	2
①建築設計製図	環境設計プロジェクトD	2年	2
①建築設計製図	環境設計プロジェクトE	3年	2
①建築設計製図	環境設計プロジェクトG	3年	2
①建築設計製図	環境設計プロジェクトH	3年	2
小計			14
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築デザイン計画論	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築空間設計論	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	都市環境設計論	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	西洋建築史	3年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	近代建築史	3年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	日本建築史	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	環境工学	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	環境情報論Ⅰ	3年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	環境情報論Ⅱ	3年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	設備計画論	3年	2
小計			16
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造理論Ⅰ	2年	1
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造理論Ⅱ	2年	1
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造システム論Ⅰ	3年	1
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造システム論Ⅱ	3年	1
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	環境構法論	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構法設計論	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	環境材料論Ⅰ	2年	1
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	環境材料論Ⅱ	2年	1
小計			10
⑧建築生産	建築生産	3年	2
小計			2
⑨建築法規	建築法規	2年	1
小計			1
⑩複合関連科目	空間表現実習Ⅱ	1年	2
⑩複合関連科目	環境設計基礎Ⅰ	1年	1
⑩複合関連科目	環境設計基礎Ⅱ	1年	1
⑩複合関連科目	空間デザイン実習	2年	2
⑩複合関連科目	環境設計プロジェクトC	2年	2
⑩複合関連科目	環境設計プロジェクトF	3年	2
⑩複合関連科目	環境総合プロジェクトA	4年	2
⑩複合関連科目	環境総合プロジェクトB	4年	2
⑩複合関連科目	緑地環境設計論	2年	2
⑩複合関連科目	ランドスケープデザイン論	3年	2
⑩複合関連科目	環境テクノロジー実習A	3年	1
⑩複合関連科目	環境テクノロジー実習B	3年	1

学校種別: 大学	学校課程コード: 4011-018-350
所在地都道府県: 福岡県	審査受付番号: 202003
学校名 課程名: 九州大学 芸術工学部 芸術工学科	
対象入学年: 令和4年度(2022年度) 修業年限: 4 年	新規申請の認定通知日: 2020/03/30
必要な実務経験年数 試験時: 最短0年 登録時: 最短0年	変更申請の認定通知日: 2025/11/27

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
⑩複合関連科目	空間情報分析実習Ⅰ	2年	1
⑩複合関連科目	空間情報分析実習Ⅱ	2年	1
⑩複合関連科目	歴史環境実習	3年	1
⑩複合関連科目	図形科学Ⅰ	1年	1
⑩複合関連科目	図形科学Ⅱ	1年	1
小計			25
①～⑨計			43
①～⑩計			68

指定科目の分類別必要単位数(試験時・登録時)

① 3単位以上	②③④ 2単位以上	⑤⑥⑦ 3単位以上	⑧ 1単位以上	⑨ 1単位以上
---------	-----------	-----------	---------	---------

修得単位数に応じた必要実務経験年数(試験時・登録時)の詳細は「二級建築士・木造建築士の受験・免許登録時の必要単位数(学校種類別)」を参照ください(例: 上記、分類別必要単位数を満たし、かつ、①～⑩計40単位以上修得の場合、試験時:0年 登録時:0年となる)。